授業科目名・形態	ヘルスアセスメント　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	今野　修　・　井澤　美樹子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期
科目ナンバリング	N4-3009				

【授業の主題】

ヘルスアセスメントとは，対象の健康状態を把握するためのフィジカルアセスメントと心理・社会的アセスメントを統合したアセスメントである。本授業では，対象の身体的側面のみならず，心理的・社会的側面へのアセスメントの方法を課題別演習を通して学び，対象を全人的にアセスメントできる知識・技術の習得を目指す。

【到達目標】

患者の包括的な情報を収集し，その情報を質的・量的に分析・統合・判断できる。

【授業計画・内容】

前半の部　慢性期

第1回　演習ガイダンス（井澤）
第2回　呼吸困難・不整脈を起こす病態および観察方法の検討　（井澤）
第3回　LANG・心電図を使ったアセスメントおよび看護の方法の検討　（井澤）
第4回　事例を使ったアセスメント(井澤)
第5回　認知行動療法を活用した行動変容への支援①（井澤）
第6回　認知行動療法を活用した行動変容への支援②（井澤）
第7回　認知行動療法を活用した行動変容への支援③（井澤）

後半の部　急性期

第8回　演習ガイダンスおよびシミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際①:「シナリオの検討」（今野）
第9回　シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際②:「シナリオとアセスメントの検討」（今野）
第10回　シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際③:「シナリオとアセスメントの検討」（今野）
第11回　シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際④:「シナリオとアセスメントの検討」（今野）
第12回　シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際⑤:「シナリオとアセスメントの検討」（今野）
第13回　シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際⑥：発表　（今野）
第14回　シミュレータを活用したヘルスアセスメントの実際⑦：発表　（今野）
第15回　まとめ　（今野）

【授業実施方法】

基本的に演習形式で行うので，主体的に取り組んでください。また、演習では、グループ・ワークを通して課題とシナリオの検討してもらい、さらにその成果を発表してもらいます。そして、グループ学習による協働的学びを求めたいと考えております。

【事前・事後学習】

講義内容を踏まえ，予習および復習を毎回30分以上行うこと。

【主な関連する科目】

基礎看護技術論Ⅱ，看護過程論，成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

【教科書等】

特に指定しない。

【参考文献】

松尾ミヨ子他：ナーシング・グラフィカ　基礎看護学②　ヘルスアセスメント第5版，メディカ出版.

【成績評価方法】

課題レポート・提出物 30%・演習の取り組み 70%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を生かした授業内容】

救命・救急医療の現場で様々な症例への対応を経験してきました。その知識と経験を生かして，アセスメントの多様性を伝えていきたいと考えております。

【学生へのメッセージ】

本授業を通して，クリティカルシンキング(批判的思考)の能力を身につけてもらいたいと思います。